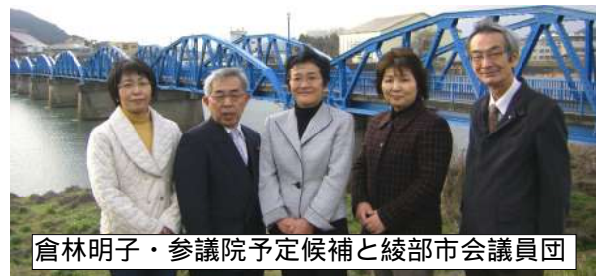


こんにちは 日本共産党綾部市議員 いだ かよこです



倉林明子・参議院予定候補と綾部市会議員団

2013年2月 第10号 綾部市味方町畦田30番地 電話・ファックス 0773-43-3255 携帯 090-5012-9039

ブログ「こんにちは いだかよこです」<http://dog.ap.teacup.com/idakayoko/>
議員団の「こんにちは」もあわせてお読みください

福島県 南相馬市

1月21日から、福島県南相馬市を訪問し、牛越仮設住宅のみなさんと交流させていただきまし。震災以降、舞鶴・与謝・中丹からボランティアで交流が続いています。

震災からまもなく2年になります。政府は原発事故の収束宣言を出しましたが、いまの様子をお伝えします。

牛越には、新たに仮設住宅が100戸完成し、入居が始まり、建設中の仮設が70戸、間もなく完成します。なぜこの時期に新設されるのか。「家族と市外で避難生活をしているが、自分ひとりでも、顔なじみの居る住みなれた所で暮らしたい。」という願いにこたえて建設されたそうです。申し込み期間一週間で、すべて入居者が決まったそうですが、まだ入居希望者がいらつしやるということです。

南相馬市では、仮設住宅入居数2,963戸、民間借り上げ住宅入居数4,917戸という状況です。

最近、たび重なる避難、慣れない仮設暮らし、先行きの不安による災害関連死で388人が亡くなっています。お元気で、まだまだ生きられたであろうと思われるかたがたです。

交流会では、自治会役員の方に、干物やシカ肉・大根など持参した食材で、焼き肉・おでん・タコ飯を作って食べていただきました。

Aさん87歳 「年寄りには環境の変化が一番こたえる。いろいろ考えていると眠れなくなり、診療内科へ。待合室はいつぱいでした」

Bさん 「毎日自宅の手入れに行き、いつでも住めるようになった。子や孫は避難先で仕事と学校に慣れて落ちついたところ。避難解除になったところで帰る者がいるのだろうか。」

Cさん 「働き口がなければ帰ってこれない。」



小高地区、個人宅内の放射線量0.82μSv。昼間は立ち入り可能だが、夜は立ち入禁止。市民に貸与された線量計で測定。

Eさん 「チェルノブイリ原発事故から26年、あそこではなにも作物を作れない。日本政府は期限を切らず風評被害の保証をしてほしい。山に降り積もった放射能は雨で川に流れ込みダムに溜まる。その水を使って田んぼに水を引き込む、除染は山から行ってほしい。」



新築されたばかりの家に地震・津波の被害はないが放射線量が高く住めない。その向こうは変電所。倉庫には退職金で買ったという新品のトラクターが停めてありました。家の前の一町歩の畑は一面に草が生えていました。（小高区）

お聞きした声は、被災された皆さんの生の声です。

南相馬市の除染は、公共施設・学校以外ほとんどされておらず、保育園での外遊びは1日30分以内。野菜は一部を除き作付可能ですが、米の作付は今年も禁止。

農作物を栽培し販売しても良い地域、自分で食べるものは栽培してもよい地域、栽培も持ち出しもしてはいけない地域に分けられています。放射線量ではなく、原発からの距離で線引。借り上げ住宅の被災者は、障害のある方や子どもが小さいなど仮設では生活できない方もいらつしやいます。ここにはボランティアの支援も届いていません。



夕方小高駅前から商店街のあたり（放射線量が高く、昼間の活動しか出来ない地域）に行ってみました。街灯はついていましたが、誰もいません。がれきが片付けられ、更地になったところ、だんだん傾いて崩れたままの建物、かろうじて立っている家。家の明かりもついていないところはなく、映画のセットの中にいるようでした。

健康な方が、避難されて急に介護が必要になってしまった。南相馬市の施設は100人待ち。

看護師不足のため、病院のベッドは空いているけれど、入院は市外の病院へ。

仮設住宅では、閉じこもりの方がでている。防ぐにはどうしたらいいの。



環境省の危険立ち入り禁止の張り紙があります



おしゃれな洋菓子店の店先に、「必ず小高で復活する！」と書いてありました。



水道水からセシウムは検出されていないと言われているが、多くの方が、子どもたちには、ペットボトルの水を飲ませているということ。

仮設住宅の男性が、「家に帰りたい。」と、ぼつりと言われました。（建物に被害はないが放射能濃度が高い）

「遠く京都から、訪ねて来てくれる。本当にうれしい。」

仮設住宅のそばには、大型店が営業し、物の不足はないようです。原発事故の収束宣言以後大手のマスコミは、原発報道をしなくなったようです。被災地の今の様子を知らせることも、支援のひとつなのかなと帰路につきました。

12月議会

議員団の「こんにちは」も
合わせてお読みください

新日本婦人の会 綾部支部が提出 採択 意見提出しました。

「妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの公費接種継続を求める請願」

2012年度で終了する妊婦健診助成と、上記3ワクチン公費接種は、2013年度国予算から一般財源化される予定です。しかし「一般財源化」では財源があいまいで、市町村負担が増えることも考えられ事業が後退する恐れもあります。

長年、新婦人の会として要求してきた内容であり 国が公費助成を続けるよう議会として意見書を上げることが求めた請願です。

産業厚生環境委員会

請願は委員会で審査してから採決をとり、その後「意見書案」を作成するのが通例ですが、冒頭から委員長が「意見書案」を提案し、請願審査せずに意見書提出を求めてきました。 共産党はこのルール違反を指摘し、通常の請願処理を確認しました。

何が問題？

委員会で審議することを全会一致で決めたにも関わらず審議しなかった。

請願の審議を優先して行うルールになっている。

公平中立の立場をとらなければならない委員長が、請願に関わる意見書を初めに提案したこと。

大江町橋谷水力発電所

大正12年、雲原川を利用した旧帝国電燈から89年間水力発電が続いています。建物の裏山から太い管を通して水が流れ落ちていきます。ゴースという音で確かに発電していることがわかります。



昨年の総選挙では、ご支持いただいた皆様のご期待に応えることができず、1議席減という結果に成りました。3年前、自民公明政権にノーを突きつけた国民は、民主政権に大きな期待をしました。その結果「なにもかわらなかった。」というのが多くのみなさんの声でした。

昨年8月には民主・自民・公明3党で、「消費税増税」と「社会保障の削減」を決めました。総選挙の結果、再び自民・公明政権が誕生しましたが、みなさんとの対話の中で、増税や社会保障の削減に反対する強い声を、数多くお聞きしております。今年7月には参議院選挙がおこなわれます。消費税増税中止・原発ゼロ・TPP参加反対・憲法を守るなど、各分野のみなさんとの共同を広げて「防波堤の党」としての役割を果たしてまいります。引き続きみなさんのご支援をよろしくお願いします。

井田佳代子